

## **RCAST Special Lecture**

**by Mr. Robert McNally**



### **「高値で不安定——グローバル・エネルギー市場の 新しい現実とエネルギー政策の未来」**

国際エネルギー市場の「新たな現実」とは何か。「アラブの春」の激動や、「フクシマ」の衝撃、中国の台頭によって変化する東アジアの地政学を踏まえた、市場と政策の将来を、米国のエネルギー政策の策定を担った代表的なアナリストであるマクナリー氏に解説していただきます。

#### **日時/場所**

**\*2012年11月1日(木) 14:00-15:30**

駒場リサーチキャンパス内 ENEOSホール  
(東京大学先端科学技術研究センター3s棟1階)

#### **\*入場料無料**

ご予約は不要ですが出席ご希望の方は、[seminar1101@spo.rcast.u-tokyo.ac.jp](mailto:seminar1101@spo.rcast.u-tokyo.ac.jp) まで事前にご一報  
くださいますようお願い申し上げます。

\*使用言語: 英語(通訳なし)

#### **アジェンダ**

14:00-14:05 イントロダクション

14:05-14:10 主催者からご挨拶

東京大学先端科学技術研究センター所長 中野義昭

14:10-15:00 Robert McNally氏ご講演

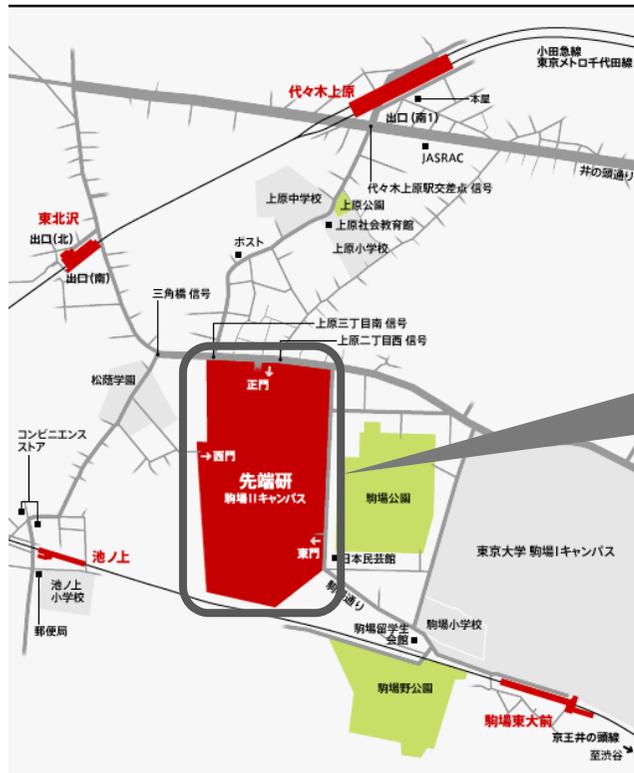
15:00-15:30 質疑応答

## 講演者略歴

ロバート・マクナリー氏はエネルギー・コンサルティング会社ラビダン・グループ (The Rapidan Group) の代表で、石油を中心に、国際エネルギー市場・エネルギー安全保障政策・環境政策・地政学等に関する専門家です。米ジョージ・W・ブッシュ政権のホワイトハウスでは、大統領特別補佐官 (2001年 - 2003年)、国家安全保障会議 (NSC) 国際エネルギー担当上級部長 (2003年) を務め、米国のエネルギー政策策定の中枢に長らく関与されてきました。昨年も有力誌『フォーリン・アフェアーズ』7/8月号に“A Crude Predicament: The Era of Volatile Oil Prices”を発表しており、CNNやエコノミスト、フィナンシャル・タイムズ、ワシントン・ポストなど有力誌・紙にも多く登場する、代表的なアナリストです。



## 会場へのアクセス



小田急線 東北沢駅より徒歩7分  
小田急線/東京メトロ千代田線 代々木上原駅より徒歩12分  
井の頭線 池ノ上駅より徒歩10分  
こちらのサイトもご参照ください。  
→ <http://www.rcast.u-tokyo.ac.jp/en/rcast/maps/>

ENEOS ホールはこちらの  
建物(3s棟)1階にあります。